

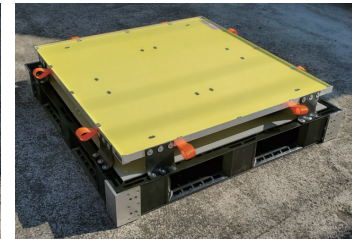
2020年 防振製品 納入事例 ①

国立大学向け 保護フレーム付き防振パレット

事例：天体望遠鏡主要部品の国内から海外への輸送

日本からアメリカの天文台まで天体望遠鏡の主要部品を運ぶために採用されました。今までは到着後に狂いが生じている場合があり、都度コストをかけて修繕していましたが、防振台を使用することで安全に運ぶことが可能になりました。アメリカでは荒野を長距離走るため、強度重視の丈夫な設計としています。

道路も日本ほど整備されていないため、金属球状サスではなくエアサスを採用しています。国内の天文学会内では口コミで当社製品が広まり、複数の研究機関から問い合わせを受けました。今回で3例目となります。



◀ 外寸：1200mm×1200mm×H1330mm ▶
◀ 積載量：300kg ▶

半導体メーカー向け カゴ台車用防振台

事例：工場建屋間の製品搬送

この工場では製造した小物部品をカゴ台車に設置したラックに多数納めて次の工程や別建屋へ搬送していましたが、そういった移動の際に途中の段差や溝で部品が跳ねたり、こぼれたりして生産効率に悪影響が生じていました。当社の防振パレットを搬送ラックに追加設置することで、そのような不具合を解消することに成功しました。



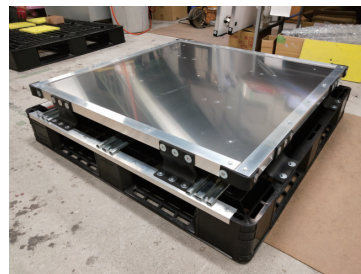
◀ 外寸：740mm×540mm ▶
◀ 積載量：40kg～80kg ▶

※ラックの下に防振台が設置されています。

大手半導体メーカー向け 防振パレット

事例：精密機器の運搬

精密機器の運搬用に製作した特注パレットになります。積荷はパレットと固定する必要がありますが、ラッシングベルトを使用すると精密機器に余計な負荷がかかったり傷が付く場合があります。そこでユーザーの要望で精密機器側の固定点に合わせてパレット側に M12 ネジ穴を 8か所追加で設けておりラッシングベルトを廃して積荷の固定を簡単に出来るようになりました。



◀ 外寸：1100mm×1100mm ▶
◀ 積載量：85kg～95kg ▶

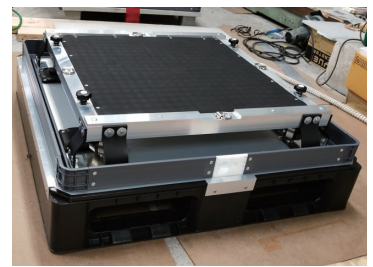
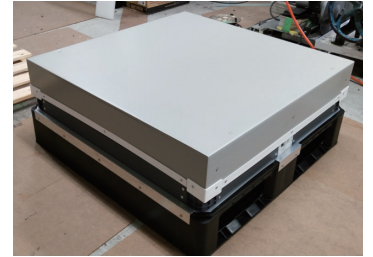
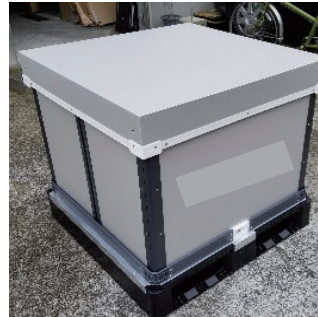
2020年 防振製品 納入事例 ②

大手半導体メーカー向け防振パレット・コンテナ

事例：半導体部品の国内から海外への運搬

輸送中の様々な外的要因から精密部品パッケージが守られるように、丸ごと保護するコンテナ式の防振パレットを採用しています。リターンブルで使用するため、コンテナは空荷の復路では折畳めるようになっています。

また、コンテナ外壁には企業ロゴをプリントしてあります（写真では隠しています）。一時的にサスペンションの動きを止めるストッパー付きで、積入時など荷台が動いてほしくない時に使用することで作業性が向上します。



◀ 外寸：900mm×900mm×H900（折畳み時）340mm ▶

◀ 積載量：80kg ▶

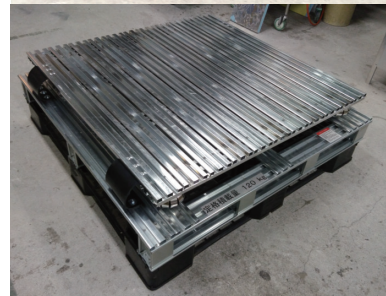
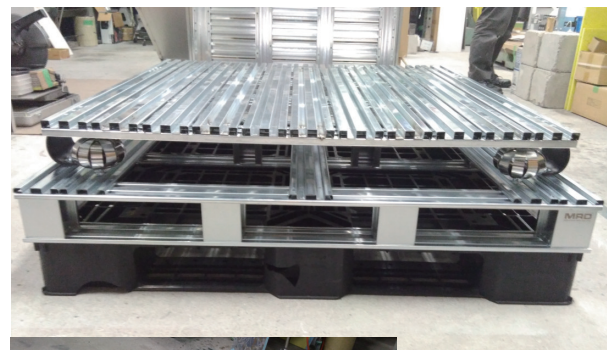
化粧品メーカー向け防振パレット

事例：化粧品原料の生産拠点間輸送

製造途中の化粧品の生産拠点間のトラック輸送において、輸送中に製品が崩れたり混ざったりするという相談を受けて開発しました。

防振パレットの導入によって、こういった輸送中の被害が大幅に改善されました。

大量に導入ということでコスト重視して特注のスチールパレットで構成しました。



◀ 外寸：1100mm×1100mm ▶

◀ 積載量：120kg ▶

特装車メーカー向け 支持フレーム付き 防振パレット

事例：電気自動車用充電ステーションの運搬

ユーザーは全国各地の展示会に電気自動車を出展しています。充電ステーションも同時に運搬しますが、そもそも充電ステーションは頻繁な輸送は想定しておらず、輸送を繰り返すと壊れやすいため、当社の防振パレットを採用していただきました。

背が高い大型のステーションで、そのままでは安定性が悪いためサポート用のフレームを増設しています。



◀ 外寸：1100mm×1200mm×H1650mm ▶

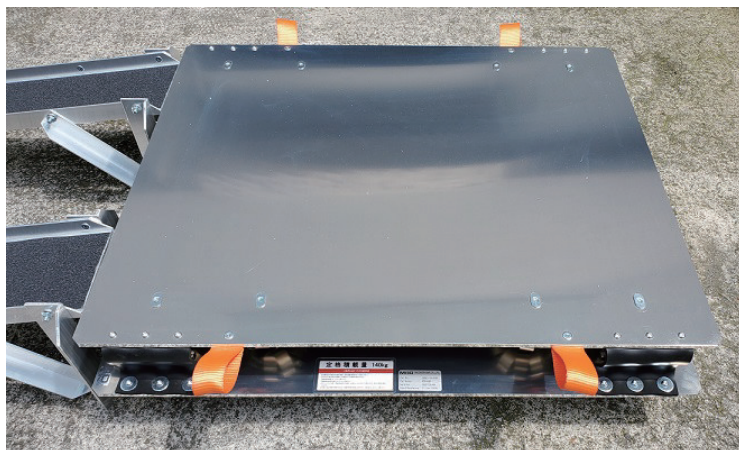
◀ 積載量：400kg ▶

2020年防振製品納入事例③

医療機器メーカー向け スロープ付き防振台車

事例：出張検診用の医療用モニター運搬

全国の出張検診で使用するため精密な医療機器を頻繁に運搬する必要がありますが、向かった先で故障して診断できないのは避けたいところです。そんな悩みを解決するために防振台を使用いただいております。
吊り上げ機材の無い場所でも医療モニターを防振台に搭載できるように専用スロープも製作しました。
防振台はキャスター付きで、かご台車に防振台ごと載せて運搬します。



◀ 外寸：900mm×800mm×H210mm ▶

◀ 積載量：140kg ▶



【使い方】下の写真の医療用モニターを防振台に乗せて搭載させます。

スロープは取り外しができます

ロールボックスパレット



容積：約1.8m³ 積載重量：500kg



2020年防振製品 納入実例 ④

大手ゼネコン向け防振台

事例：建設現場における高性能測量機の保護

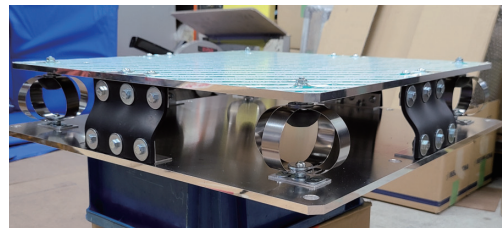
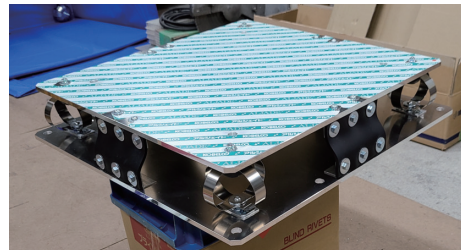
工事現場において重機などで常時大きな振動が発生していますが、測量に欠かせない3Dスキャナは本来振動に弱い精密機器です。防振台を使用すれば計器の故障や歳調整に伴うコストやスケジュール遅延を抑えることができます。

防振台設計にあたり現地で振動データを取り解析し、重機振動に対して最適なサスペンションに調整しています。

また、泥などをホースで直接洗い流せるように腐食しにくい材料構成にしています。

◀ 外寸：550mm×550mm ▶

◀ 積載量：20kg ▶



大手セラミック向け 二階建て防振台車

事例：焼結・焼成前のセラミックの工場内搬送

いままでは焼結前のセラミックを炉まで運ぶ際、振動で割れるのを防ぐため仕方なく手で運んでいましたが、生産性や労働環境面で好ましいものではありませんでした。防振台車を採用することでリスク無く台車で運搬できるようになり、工程の大幅な改善を達成しました。一度に多く運べるよう荷台が二階建ての防振台車となっています。

この工場では、搬送ルートに一部屋根が無いいため、雨やホコリを防ぐためのカバーを装備しています。

◀ 外寸：900mm×600mm×H1000mm ▶

◀ 積載量：40kg×2段 ▶



電気機器企業向け 防振パレット

事例：道路工事前 車両搭載型電光掲示板の保護

高速道路などの補修工事で使用する車載型の電光掲示板が、現場への走行中に故障しないように防振台を採用していただきました。大型で重量があるタイプの機材のため、頑丈な鉄骨で防振台を構成しています。

荷台面には電光掲示板、発電機など色々な機材が載るため、多数の取付穴が備わっています。

◀ 外寸：1600mm×1320mm ▶

◀ 積載量：500kg ▶

